

# 伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.64号> 2016年 6月1日 発行

## ごあいさつ

日本の代表的な川魚・鮎の旬が巡って来ました。若鮎の何とも言えない香気がグルメを駆り立てる頃です。

さて、熊本地震から一ヶ月半が経過、未だ8千人余の人々が避難所生活を強いられており、心よりお見舞いを申し上げる共に、仮設住宅の早期提供と生活再建を願うばかりです。

一方で、伊勢志摩サミットが閉幕しました。オバマ大統領はアメリカ現職大統領として初めて広島を訪問。犠牲者を追悼し被爆者代表との抱擁シーンは特に印象深く、全世界が核廃絶という共通の願いの実現に繋がっていくことを期待します。

ところで先月末、消費増税の再延期が決まりました。実質賃金の減少傾向、個人消費も伸びない現状ではやむを得ない判断と考えますが、消費増税を財源に子育てや介護等を充実させる社会保障と税の一体改革は先送りできない最重要課題。

増税再延期に合わせ決まった参議院選挙では、これまでの経済政策の是非と社会保障等へ取組みが問われる選挙となりそうです。

さて6月は定例市議会が行なわれます。安心してきる市政運営の継続に慎重審議で望んで参ります。



刈谷市議会議員

### 【後援会事務所】

刈谷市一里山町金山100番地  
(トヨタ車体労働組合内)

Tel 0566-36-3870

Fax 0566-36-6272

E-mail itou@bwcom.or.jp

HPアドレス <http://y110.jimdo.com>



## 歳時記

6月 1日 (水) 衣更え	梅雨時の空は夏に向かう強い陽射しを
5日 (日) 芒種	レースのカーテンのように遮り、ほっと
10日 (金) 入梅	する安らぎを与えてくれます。
19日 (日) 父の日	雨の季節ならではの愉しみを見つけた
21日 (火) 夏至	り、落ち着いて片付け事をするにはピツ
30日 (木) 夏越の祓	タリです。

# 伊藤 ゆきひろの ちょこっと情報 !!



## 刈谷 良いトコ ♪



夏空に向かって、雄叫びを上げる龍の頭のようなフォルム。その“歯”は、5個の大きな吊り鐘で出来ています。さて、ここはどこでしょう？



5/1発行の<No.63>の答えは、桜町刈谷駅北口ある、刈谷の境・逢妻・猿渡三川を象徴する形で表された空中花壇でした。

## “庭園”への招待☆ (Chapter3)

それからおよそ千年の時流れ…古代ローマの庭園が再び目覚めたのは法王パオロ三世の孫、アレッシンドロ・ファルネーゼ枢機卿により、1542年パラティーノの丘に遠近法利用の通路や、段丘を駆使した庭園の造成が始められた時です。

時は、バロック、1652年ベルナルディーノ・スパルダ枢機卿は、建築家フランチェスコ・ポッロミーニに、自邸の庭園の演出を託します。彼が考案した“偽の遠近法”は、人の眼の錯覚を利用するユニークな手法で、人々を驚かせ魅了しました。

スパルダ宮殿の入口から、ささやかな中庭に続く 僅か8m程の回廊に奥行を感じさせるため列柱の太さを変え、床の凸凹を利用するトリックを施した結果、実際の5倍近く37mもの長さに見せ、回廊奥にある中庭の等身大に見える彫像は、実際には高さ60cm。その不思議が、何百年もの時を経た今も訪れる人の眼を釘付にしています。

この庭園ブームが生んだのは地価の高騰。水を簡単に引けるテベレ川沿いの土地価格はウナギ上りで、富裕層はこぞって一等地のパラティーノに居を構えました。

王侯貴族や富裕層に愛され、様々なアイデアが競い合われた庭園の様式は、やがてフランスやイギリスでも独自の文化を生み出して行きます。

## 6月の行事予定

- 6月 9日 (木) ~13日(月) 6月定例議会 本会議
- 11日 (土) ユタカ議員協議会総会・連合愛知議員懇談会
- 12日 (日) 刈谷市消防団操法競技大会
- 15日 (水) ~20日(月) 6月議会 各種常任委員会
- 24日 (金) 予算審査特別委員会
- 27日 (月) 本会議・都市施設管理協会理事会

“まじめに  
コツコツ、即行動”  
頑張ります!!



# 5月のフットワーク

## 『第2次 刈谷市環境基本計画』を紹介します。

持続可能な環境  
をみんなで紡ぐ  
産業文化都市



キー坊 ラビたん エピコ  
刈谷市環境キャラクター

### 【計画期間】

平成27年度～平成36年度までの10年間

### 【計画の視点】

- 〔1〕 各主体の活動領域で環境施策を整理  
(暮らし・産業・地域基盤)
- 〔2〕 刈谷市の環境を取り巻く状況を踏まえて  
取組み分野を整理  
(低炭素・資源循環・自然共生・安全安心)
- 〔3〕 多様な主体の参加と協働による環境都市

### 環境指標と目標

取組分野	環境指標	現状値	目標値(H36年度)
低炭素	太陽光発電・太陽熱利用システム設備の住宅戸数	2,526 戸 (H25年度末補助件数)	7,000 戸
	EV・PHV普及台数	94 台 (H25年度末補助件数)	1,200 台
	1世帯当たりの年間電気・ガス使用量	電気 5,222 kWh ガス 374 m <sup>3</sup>	モニタリング指標(目標値は設定せず、推移を把握)
	省エネルギーに心がけている市民の割合	85.4% (H24年度)	90%
資源循環	ごみの年間総排出量	55,379 t (H25年度)	48,500 t (H32年度)
	1人1日当たりのごみ排出量	1,028 g/人・日 (H25年度)	830 g/人・日 (H32年度)
	リサイクル率	20.1% (H25年度)	40% (H32年度)
自然共生	1人当たりの都市公園面積	8.5 m <sup>2</sup> /人 (H25年度末)	9 m <sup>2</sup> /人 (H32年度)
	緑や自然を身近に感じることができると思う市民の割合	65.7% (H24年度)	70% (H32年度)
	下水道普及率	90.7% (H25年度末)	95% (H32年度)
	下水道水洗化率	80.8% (H25年度末)	93% (H32年度)
安全安心	環境基準の達成状況	H25年度の主な未達成項目「光化学オキシダント」「境川上流のBOD」	全項目及び全地点での達成

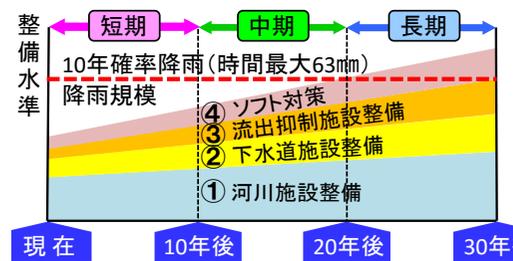
取組みの抜粋	低炭素	資源循環	自然共生	安全安心
【基本方針1】暮らしの実践	省エネ型のライフスタイルへの変革	3Rの実践	自然環境の保全・創出	生活環境の保全
【基本方針2】環境と産業	事業活動に伴う温室効果ガス排出抑制	事業活動に伴う廃棄物削減・適正処理	自然環境に配慮した事業所活動	率先した公害対策
【基本方針3】地域基盤づくり	低炭素型のまちづくり	廃棄物処理施設整備・維持管理	自然環境の保全・創出	継続的な調査・監視体制整備
【基本方針4】参加と協働	環境にやさしい人づくり 各主体の連携・協働による社会・経済のグリーン化			

## 『刈谷市雨水対策マスタープラン』を紹介します。

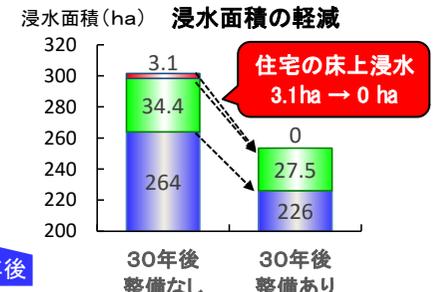
H26年、県と本市を含む10市2町で策定した「境川・猿渡川流域水害対策計画」を踏まえ、刈谷市の総合治水対策として、河川や下水道等の施策目標と対策を明らかにした計画(平成28年3月公表)

- 浸水深50cm以上(住宅の床上浸水)
- 浸水深50cm以上(住宅以外の浸水)
- 浸水深20cm以上50cm未満(床下浸水相当)

### 【段階的な整備イメージ】



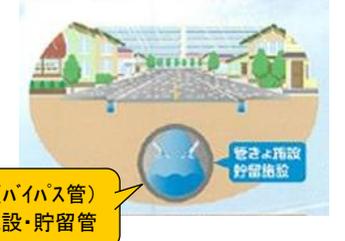
### 【整備効果】



### ① 河川施設整備の内容



### ② 下水道施設整備の内容



### ③ 流出抑制施設整備の内容



### ④ ソフト対策

- 制度の充実・・・住宅開発指導要綱・たん水区域対策・雨水貯留浸透設置補助 等
- 防災対策・・・洪水ハザードマップ作成・防災訓練・避難誘導勧告・被災情報 等
- 啓蒙活動・・・出前講座・イベント・HP・市民だより等による啓蒙活動